

五島列島ジオパーク構想活動支援助成金
事業成果概要【公開用】

事業名	覚仙海岸タイドプールのサンゴ群生息地保全活動
事業の種類	調査・研究事業 / 普及・啓発事業
所属・ 事業実施者	崎山鑑瀬自然を守る会 古里 幸一
事業期間	令和 3 年 9 月 1 日 ～ 令和 4 年 2 月 2 6 日
関連分野	普及・啓発／保全
キーワード	西海国立公園鑑瀬溶岩海岸 タイドプールのサンゴ群 干潟のイソアワモチ
対象地	西海国立公園 鑑瀬溶岩海岸エリア内“覚仙海岸（カンナガタ）”

【作業実施後】



【作業】



覚仙海岸タイドプールのサンゴ群生息地保全活動

いそあわもちふれあい広場



<普及・啓発事業の場合>

1. どうしてやろうと思ったか（事業の目的）

干潮のとき、サザエやアワビ、ワカメ、ヒジキにテングサ等と西海国立公園鑑瀬溶岩海岸にいけば、簡単に見ることができた子供時代の海の幸。今は、磯焼けで見ることがない。

でも、そんな磯にもまだ生き物はいるはず。干潮時のタイドプールに生息する貴重なサンゴ群や生き物たち。これらの生息環境の維持、周辺の漂着ゴミ清掃活動及び子ども達との自然体験学習を行うことにより、地域資源の保全・ジオパークの啓発を目的とした。

2. なにをやったのか（事業の内容）

- (1) 覚仙海岸への通路確保、浜への降り口確保整備。
- (2) タイドプール内及び周辺の漂着ゴミ清掃及び不法投棄物廃棄運搬。
- (3) 案内板製作及び広場づくり。
- (4) サンゴ群名調査。
- (5) 子ども達との自然体験学習会の実施（出前授業）。
- (6) 鑑瀬溶岩海岸エリアでの貴重な“干潟”と“イソアワモチ”生息発見。
- (7) 多種のサンゴ化石発見。

3. どんないいことがあったか（事業の効果）

- (1) 海岸までのルートを近距離塩津港ルートに変更した結果、通路確保作業に重機が必要となったが、不法投棄箇所数か所を発見。廃棄運搬処理を実施した。なお、崎山地区まちづくり協議会で「不法投棄禁止」看板を設置してもらった。
- (2) 藪を伐採後、臼岳から富江半島までが一望、赤島・黄島・黒島の三島が一望、なお朝陽から夕陽が見える広場を確保することができた。
- (3) 社会福祉法人さゆり会崎山児童クラブの子ども達に案内板タイトル「いそあわもちふれあい広場」を作成してもらい取り付けることができた。
- (4) 社会福祉法人さゆり会崎山児童クラブへの出前授業「海洋ゴミ問題」で、子ども達への啓発活動が実施できた。
 - ① 【動画】令和のさっきやま太郎
 - ② 【プレゼンテーション】自然と海洋ゴミを学ぼう
- (5) 漂着ゴミ清掃時、多種のサンゴ化石を発見することができた。

4. 持続的な取り組み（今後の課題）

- (1) 通路・広場の草払い作業の定例化。
- (2) 海洋ゴミ拾い作業の定例化。
- (3) サンゴ群・いそあわもち・海浜植物等の大潮干潮時に合わせた調査の継続実施。
- (4) サンゴ化石を教材とした体験学習の計画実施。
- (5) 広場土砂流失防止対策（落石の組みなおし）。